

かさがみこども食堂(西ふれあいセンター)

毎月第2土曜開催

令和8年7月11日(土) 晴れ、入り口のドアには“こども食堂”開催の文字が見えました。11時過ぎから、心待ちにしていた腹ペコなこどもたち、親子連れ、野球少年たちがぞくぞくと集まってきました。

「かさがみ食堂」の名前の由来はかつてこの地が“笠神(かさがみ)”とよばれていたからだそうです。こども食堂は毎月第2土曜日に開催されています。

始まったのは2016年7月。2025年7月で開催100回を迎えました。

時刻は11時、受付には早くも行列。「今日もみんなそろてきてくれてんなあ」と歓迎のことば。「きょうはカレー?」「デザートある?」と腹ペコ怪獣たちは口々に質問攻めです。食べる前から「おばちゃんおかわりあるー?」「きゅうりいらんわー!」とにぎやかにぎやか……。 (笑)

メニューは多彩。本日はわかめごはん、いろいろ冷そうめん、揚げたてコロッケ。みんなで95名参加の大賑わいのこども食堂。



予約なしのため、ほとんどが小学生。高齢者、親子連れもチラホラ。運営は解放同盟大福吉備支部、地域のボランティアや民生児童委員。みんな、それぞれの持ち場に分かれて「ごはん炊けてる?」「コロッケそろってる〜?」とたがいに声をかけあい忙しそうに作業をされていました。

食べたら何して

あそぼうか?





「ちゅるちゅるそうめん、いっぱい食べてね。」
「ころっけ・・・おいしい！」 また、別のひとこまでは、「きゅうり嫌い
やからぬいてもらって
ん」とそうめんをほおばる男児。好き嫌いにも対応してくれる人と人の近さを感じました。

12時過ぎには用意していた数が底をつきそう…。汗を流しながらあわてて入ってきた高学年男児「えーっ！もうないの？めっちゃショック😱」「そうめんだけでもよかったらあるよ〜！」「やったー！」ととてもうれしそうに目を輝かせそうめんをほおばっていました。



あとがき…

とりあえず「かさがみ食堂」でみんなの顔みとこ
ボランティアのおばちゃん、おっちゃん知り合いになつとこ。
ごはんを食べてから外遊びしよ。(熱中症に注意！)
水曜日 15時半、小友で宿題しよう。

壁にはりだされていた100回記念新聞に記されていたメッセージ。運営者の食の要求を満たしながら、もう一度つながりをもっていきたい。こども食堂を拠点として学力補充につなげていきたいという熱い思いが伝わってきました。